


胃 ABC 検診

■胃がん検診：

胃がん検診にはバリウムを飲んで胃部を X 線撮影する方法と胃カメラによる内視鏡検査の 2 つがあります。それに対して胃 ABC 検診とは血液検査によって胃がんの発生リスク、つまり“危険度を判定する検査”のことです。胃がんの一次検診です。

■胃 ABC 検診：

胃 ABC 検診は「ピロリ菌感染の有無を調べる検査」と「胃粘膜の萎縮の程度を調べる検査」を組み合わせ、胃がんの発生リスクを A B C D の 4 段階に分類して判定を行います。これは胃がん発生の危険度を判定するものであって胃がんが見つかるわけではありません。そのため「胃がんリスク検診」とも呼ばれています。B C D と判定された場合には二次検査の内視鏡検査が必要になります。

ABC 分類	A	B	C	D
ピロリ菌抗体	—	+	+	—
ペプチノゲン値	—	—	+	+
胃がん発生の危険度	低			高

■胃 ABC 検診の実施：

この検査は自費検診で検査料は 3500 円です。B C D 判定後の内視鏡検査は保険適応になります。

詳細はお電話にてお尋ねください。045-439-4077